

早期発見!

あなたが あなたを救う物語!

△受けよう、特定健診! △



どんな検査項目があるの?

血圧

高血圧の状態が続くと動脈硬化を促進し、脳卒中や心筋梗塞などを引き起します。

尿検査

尿中のブドウ糖やたんぱく質を測定し、糖尿病や腎臓の異常の可能性を探ります。

問診

質問票により、喫煙歴や服薬歴などをお聞きします。



血液検査

脂質異常、肝機能、糖尿病などを調べます。

身長・体重・腹囲

現在、肥満の判定は、身長と体重から計算されるBMIという数値で行われています。これはBody Mass Index(肥満指数)の略で、次の計算式を用います。

$$BMI = \frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(m)} \times \text{身長(m)}}$$

肥満度	BMI
低体重(やせ)	18.5未満
普通体重	18.5以上25未満
肥満	25以上30未満

肥満度の判定基準(日本肥満学会2000)

特定健診を受けてみよう!

特定健診の流れ

STEP 1 40~74歳の方に、健診のお知らせが届きます。



STEP 2 受診日時や受診場所を確認して健診の申し込み!



STEP 3 いざ特定健診へ! 保険証と受診券を持参



STEP 4 結果の通知と、生活習慣病を予防するための情報が提供されます。

特定保健指導

健診結果の状態に応じて動機付け支援または積極的支援の指導が行われます。



特定保健指導って何?

特定健診を受けた全ての方に、健診結果と一緒に健康づくりに役立つ「情報提供」が行われます。また、健診の結果、メタボリックシンドローム(メタボ)や生活習慣病を発症する危険性がある方には、個別の指導が行われます。これを「特定保健指導」といいます。

動機付け支援 (メタボの危険性がある方を対象)

保健師や栄養士との面談を行い、生活習慣改善の取組が行われます。3~6ヶ月後に、健康状態が改善されているかの確認が行われます。

積極的支援 (メタボの危険性が高い方を対象)

保健師や栄養士との面談を行い、3ヶ月以上継続した生活習慣改善の取組が行われます。3~6ヶ月後に、健康状態の確認が行われます。

